

音声・嚥下外来



担当医：大前由紀雄

予約方法

1

イムス三芳総合病院耳鼻咽喉科
外来までお電話ください。
049(258)2323 内線：181

2

外来日は、木曜日午後です。
(予約制)
14：00～診察開始

3

予約日当日は、総合受付にて受
付した後、耳鼻咽喉科外来前
でお待ちください。

● 声や飲み込みの異常を専門的に診療しています

耳鼻咽喉科は、中耳炎や花粉症などで受診することが多いと思
います。ところで、耳鼻咽喉科の「喉」はどこかご存知でしょうか？
喉は、ノドの奥にある声をだし、ムセを防ぐ喉頭です。喉頭は、口を
開けただけでは決して診えません。

当院では、耳鼻咽喉科に喉頭を診療する為の、音声・嚥下の専門
外来を開設しています。

声がれ、飲み込みの障害がある場合は、お気軽に耳鼻咽喉科外
来までご連絡ください。

● こんな症状があればご相談ください

- ①一息で「アー」と声を出してみましょう。
声がかすれる、長く続かない、声がゆるぐなど声の異常が気になる。
- ②声帯ホリブや喉頭がんが心配。
- ③「食事中のむせが多い」「ノドに違和感や残留感」がある。
- ④長引く咳や痰、胸やけがある。

● 注目の嚥下リハビリテーション

「経栄養から経口摂食へ」「誤嚥のリスクを軽減し肺炎の発症
を予防する」など、嚥下障害のリハビリテーションが注目されてい
ます。しかしながら、嚥下障害の病態を確実に診断し、効果的な嚥
下指導やリハビリテーションを実地できる専門家や設備の整った
施設は決して多くありません。

当院では、最新の設備を整えています。また担当医は、アメリカ
で嚥下障害のリハビリテーションを学び、長年にわたって嚥下障害
の研究や臨床に取り組んでいる専門家の一人です。

* 診療時間のご案内 *

※毎週木曜日14：00診察開始・受付終了16：00まで。
※予約優先制ですが、通常の診察も行っています。

皆さまの声を聞かせてください！

イムス三芳総合病院では、よりよい病院づくりをすすめるため、患者さま・地域の
皆さまのご意見を募集しています。ご意見は下記FAX、E-mailまたは院内総合受付
横に設置のアンケートBOXまで。皆さまの貴重なご意見をお待ちしております。

FAX：049-274-7016 E-mail：renkei.mkh@ims.gr.jp

イムス三芳総合病院 広報誌
Plaza ims(プラザイムス) Vol.15 2010.1
発行/イムス三芳総合病院 地域医療連携室
発行日/2010年1月
〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保266-1
医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院
TEL049-258-2323
http://www.ims.gr.jp/miyoshisougou/



イムス三芳総合病院

新年明けましておめでとうございます



三芳厚生病院から、イムス三芳総合病院へ名称変更し、ほぼ二年が経過致しました。この間救急医療を中
心とした総合病院への脱皮を目指し、スタッフのさらなる採用及びレベルアップ、病院内施設の充実、科の拡
充など、全力をあげて努力してまいりました。その結果、まだまだ過度期ではありますが、徐々に一般病院と
しての職員の意識改革が進み、日々緊張感のある病院内の雰囲気が構築されてきているように思います。

最近では、多くの患者様の来訪により、外来待合室の空席が目立たなくなる日も増え、病院内の活気が肌
に伝わってくるようになってきております。特に数年前に開設した小児科は、新型インフルエンザが流行し猛
威を振るっている影響を考慮しても、連日多くの患者様が来院するようになり、地域に根差した医療活動に
近付きつつあることを実感しております。

本年も患者様に信頼され、地域医療への貢献ができる総合病院を十分に意識し、職員一同分け隔てなく
一丸となって努力していく所存でありますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

イムス三芳総合病院 院長 石田 規雄

職員のご紹介 新しく当院で働くことになりました職員を紹介させていただきます!



昨年の7月に着任いたしました皮膚科担当の副島清美と申します。水曜日以外は毎日外来・病棟業務を行っています。

皆さまに頼られ・愛されるよう頑張っ日々過ごしていきたいと思ひます。皮膚科全般にわたり診察しております。頭頂部から足底まで皮膚に異変があればすぐ受診してください。

最近、年配者のアレルギー疾患・皮膚腫瘍がたいへん増えています。痛くもない、痒くもない赤い斑・黒い隆起した斑は腫瘍であることが多いです。早期に治療をすれば大事にいたらずに済みます。自覚症状がないとつい看過してしまいがちですが、気軽に受診していただければ、と思ひます。

成人初発のアトピーも増えています。子供のとき、健康な肌質でも中年期になってしつこく繰り返す湿疹は検査が必要です。

今まで週2回の診療体制でしたが、非常勤の先生方にも御協力いただき毎日の外来が可能となりました。どうぞ今後とも末永くよろしくお願い致します。

皮膚科医 副島 清美



10月より着任しました内科の宗です。長い人生の中で、一番大切なのは健康です。地域の皆様の心のふれあいを大切に、受診された方の健康を保てるようわかりやすい説明とあたたかい医療を提供したいと思ひております。

これからも皆様の健康のために、精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。

内科医 宗 愛麗



平成21年4月に、循環器科として当院に入職させていただきました池田豊秀と申します。はや9ヶ月、病院職員の方々の暖かい励ましの中、持てる力を十分に発揮し日々診療をしております。

私は、卒業以来一貫して胸部疾患の研鑽を積んでまいりましたので、今後とも内科・外科問わず、循環器・呼吸器の分野で地域医療に貢献できるよう努めてまいります。検診で胸部異常影を指摘された方や胸背部痛・呼吸苦などの症状でお困りの方は遠慮なくご相談下さい。

呼吸器外科医 池田 豊秀



11月9日付で地域医療連携室配属となりました徳永栄治と申します。地域医療連携室という、院内だけでなく近隣クリニック等、地域に関わらせていただく業務につき、日々新しい発見、勉強をさせていただいております。

今後は、院内連携だけでなく、近隣クリニック、診療所との連携を密にし、より患者様が受診しやすい環境を作っていけるよう、一生懸命頑張っていきたいと考えております。

宜しくお願い致します。

地域医療連携室 徳永 栄治



この度12月7日付で地域医療連携室に配属となりました若木学です。まだ入職して日も浅いのでご存知ではない方が多いかと思ひますが、1日でも早く仕事を覚えると同時に皆様方に顔を覚えてもらえるように積極的に業務を頑張っていきたいと思ひております。

そして地域医療連携室に配属されたからには、名前に負けない業務連携を目指し、患者様とコミュニケーションをとり、近隣の医療施設の皆様との円滑な連携を図らせていただき、笑顔の多い患者様のための明るい病院作りに励んで一生懸命やっていきたいと思ひておりますので、これから宜しくお願い致します。

地域医療連携室 若木 学

今年の花粉は?



日本気象協会が2010年春の全国のスギ・ヒノキの花粉総飛散数の予測を発表しました。今春の関東、甲信越の花粉飛散量予測は、「例年と比べて少ない傾向」と予想しています。私自身かなりの花粉症持ちで、2月の終わり頃になると鼻づまりに悩まされ、憂鬱な気分になるのが毎年の風物詩でした。そこで私はここ数年「鼻うがい」を実践しています。「鼻うがい」とはその名のとおりに鼻を洗い流すことで、色々な方法があると思ひますが今回は私の方法をご紹介します。

※「鼻うがい」をする際の注意点は赤字にて記載していますのでよくお読みください。



①小さめの洗面器にぬるま湯を2ℓほど入れます。冷水だと刺激が強いので避けてください。2ℓがどれくらいかわからない方は2ℓペットボトルの空き容器に一度はかり取ると簡単です。



②小さじすりきり4杯の塩を入れて手でかき回して溶かします。これで生理食塩水に近い濃度になるので鼻に流し込んでも刺激が少なくすみます。もしこれで刺激が強いようなら塩を調節してください。個人的な感覚ですが、これで「ツーン」とする方は少し塩を多めにすると良いと思ひます。



③片方の鼻を指でふさぎ、顔を下に向けて鼻を水面につけてゆっくりと吸い込みます。鼻の中を通して口の中に入ってくるので吐き出します。この時に顔を上げないでください。顔を下に向けるのは、口に流れてきた塩水を飲み込まないためと、耳のほうに流れないようにするためです。これを繰り返します。

④終わったらティッシュを鼻に当て、静かに呼吸をして鼻の中の水が流れ出るのを待ちます。この時、注意をしていただきたいことは絶対に鼻を強くかまないでください。水が残っている状態で鼻を強くかんでしましますと、鼻の中の水が耳のほうへ入る場合があり、中耳炎を起こす可能性があるためです。

私は左右の鼻で1.5ℓぐらいでやめます。花粉症のシーズンは毎日やっておりました。シーズンでなければ鼻が調子の悪い時しかやりません。大切なことは鼻を強くかまないこと、顔を上に向けないことですね。頑張っ花粉症のシーズンを乗り切りましょう。



薬剤師 高塚 亮

Good Cooking

小松菜とツナを使用した料理

寒い冬を元気にのりきる栄養たっぷりレシピをご紹介します!



小松菜は1年中売っていますが、やはり旬はこの時期です。ビタミン、カルシウム、カリウム、鉄を多く含むところなど、ほうれん草の栄養成分に似ていますが、ビタミンB2の含有量は野菜の中でもトップクラス!また、カルシウムはほうれん草の約6倍も含まれています。この時期は風邪予防などに効果的です。

材料 (4人分)

小松菜	1把	【調味量】	
ツナ缶	1缶	酒	大さじ1
長ねぎ	10cm程	中華スープ	少々
生姜・にんにく	少々	塩・胡椒	少々
油	小さじ1	胡麻油	お好みで!

作り方

- ①小松菜は5cm程に切って、葉と軸をわけておきます。
- ②ツナは汁気を切ってほぐしておきます。
- ③長ねぎ、生姜、にんにくは、みじん切りにします。
- ④フライパンに油を入れて③を炒め香りがでてきたら、小松菜を軸、葉の順に加えます。
- ⑤小松菜がしんなりしてきたら、②のツナを入れて調味量で味付けすれば出来上がりです。

☆最後に胡麻油を入れるとさらにアクセントがつかます

Good Cooking